京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別欄特別割增
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久辨一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五六番
仁川宮町三丁目 電話二一一番 仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地 東京支局

雜錄

●新領土の舊山河（四）　呉越

▲鴨綠江（三）

◎志賀矧川曾て云へるあり、朝鮮半島の人文は圖門江、鴨綠江、大同江、漢江、錦江、洛東江の畔に起りたる記錄に過ぎずと、夫れ一國文明の發祥は大河の畔に在る事東西其揆を一にす、殊に半島の地勢、山脈縱横し、大河其間に流れ、各區域に據りて種族發達し、郡家起倒せるや、矧川の言誠に當れりと云ふべし、吾人歷史的鴨綠江を見んとするもの、半島人文史の一部を說くに似たるある亦止むを得ず。

◎支那三代の頃、東胡、林胡、山戎其他の諸蠻族、遼河、大同江の間に棲息す、漢族の其間に入りしは即箕子也、箕子の所謂古朝鮮は其東境或は鴨綠江に達せざりしやも知れず、箕子の後四十一代準、燕王滿と其境界を定むるに浿水を以てするや箕氏全く半島に入れるなり、浿水は即鴨綠江の故名、是より永く半島を大陸と分つ。

◎神功皇后、身巾幗にして三韓を征討するや、新羅王即素旆而自服、素組以面縛、圖書を封して王船の前に降り、今より後永く乾坤を與て伏して飼部と爲らんと盟ひ且曰く

非東日更出西、且除阿利那禮河返以之逆流、及河石昇爲星辰、闕殊闕春秋之朝、怠廢梳鞭之貢、天神地祇共討焉。

と、爾後二千年、未だ曾て『阿利那禮河』の逆流せし事を聞かずと雖、半島吾に反せし事、既に幾度ぞや、適莫今より後は本江の流向、永久半島に推移を容しからん。

◎朱蒙、沸流河上に都し國を建てゝ高句麗と稱す、嬰陽王に到り靺鞨の衆を率いて遼西を犯す、隋の煬帝大に怒り、即位八年、親ら六軍を總べ、遼東を復し、諸軍と共に鴨綠江西に會す江を渉り長驅して平壤に迫る、高句麗の大臣乙支文德、背後より隋軍を鈔擊し、隋の諸軍皆潰へて北に走り、一晝一夜にして鴨綠江に至る、然かれども江を越ゆる僅か二千七百人、はじめ隋軍の遼に至るや其數凡そ三十万人と稱す、煬帝の英資にして高勾麗を殲滅する能はず、空しく江に背して西に歸る其情憐れむべし。

●變哲學　夢涯子

○時は金なりこれ商買界に於ける語也時は金と相反比例すこれ役所會社に於ける格言也腰辨の生命抑々何ぞ時か金か役人はエライ者也

○流るゝ水には魚棲まず溜る水には魚も住めり江戸ッ子は瀞なり流るゝ水なり大坂ッ子は淵なり溜る水也而して彼れは金無く是れに金ある所以なり流るゝ水に消し溜る水は汚し金の欲しきものは吐月峯となれ潔癖家は遂に金滿家となるの資格なきの知る可し

○目尻の下がつた數は宜しく新領土に來れ汝が動物的色慾を充し得る到底本土の比に非らざればなり胡蝶物語や馬琴の空想は玆に實現されつゝあり汝若し疑はゞ翻つて花柳病の統計を見よ

○吾れは曾て遂に理想の妻を得ず而して常に我儕陶器製の御多福人形を愛す火に照らせば熱も出る紅をさせば赤い顔もするものなり其の彼れが身だしなみの善さ寢くたれ髪一つ見せず其れ人好なる輿入の一幌羅で恐い顔さへする事莫く曰くこれなる哉これなる哉

文苑

○折にふれて　松琴生

秋草の花を賣り行く少女子の素足つめたき朝寒むの街

○高麗少女落葉流るゝ江の岸に拍子そろへて水ぎぬた打つ

○出水のあと未だのこる川添の十戸の村に秋の風吹く

○醉みちて謡ひたまへる謡曲の父のみ聲の細りかなしも

○豊かなる稲田指し村八の喜びかたる里川づゝみ

外事一束

△清國 來電曰く、江岸停車場を援護たる清國軍艦漢口一帶を見捨て下航す

△袁世凱出廬 條件政府之を容れ袁愈々出師すべく幕僚組織を急げりとか

△南京 人心恟々滿人及官吏家族退去拔題し革黨員多數入り込み飛語紛々と

△上海 金融猶混亂なるも大体小康にて銀行の弗々開店するあり樂觀說出づ

△伊土 激戰ベンガヂーに起り双方多大の損害あり伊別にボルナを占領すと

△中淸 動亂東三省長春に影響し紙幣不通し大淸銀行取付に逢ひ經濟萎縮す

梁川庄八　第十八回　小金井蘆洲演

德兵衛仙臺の城下へ出て容子を聞合せますと、庄八時を移さず町奉行寒川又右衛門へ訴出たとの事に驚いて、眞樣榴ヶ岡飛梅天神の和田但馬先生の許へ訪ねました、會て話を聞て見ますると但馬も只歎息する斗りで『イヤ斯く相成つては致し方がないが、斯樣な事を致させたくないから種々注意を與へ諫言をしたのだが殘念な次第である』と悔んで德兵衛を慰め先自分の所へ止めて置いて、段々容子を探ぐつて見ると前掲の次第が判かりましたので德兵衛は之を聞いて、天を仰いで歎息をして、困つた事が出來ましたと云ふ斗りで殊に年は老いて居るし先方は仙臺家名代の老臣ではあるし如何共爲すべきやふなく、和田先生に暇を告げて只々無念を耐へて、足もしどろに岩沼に立戻りましたが、甚うかして若旦那樣をれ救ひ申す工夫はあるまいかと種々思案に暮ましたが別に宜い考も付かない、此上は神佛の力を假るより外に道はないと思極めて、岩沼の武隈明神へ訴願をする事に成りました、此武隈明神と申ますのは却々の大社でございまして出羽奥州北陸道に澤山氏子もあり信者もあつて、鳥居前に旅舍が七八軒もありますが、夫が參詣の人々が宿泊する斗りで營業になつて居る位、夫に豆腐屋が三軒ありますが、明神參詣の人々が油揚を奉納をする其油揚を拵へて立派に生活が立て行く位ですから大層な者です、莊觀美麗な大社で末社が八百八社ありまして靈現著しく、遠近の者參詣常に絕へた事がない、德兵衛は神主に話をして、明神へ參籠をし一心不亂に斷食をして願望を懸む 德『正一位武隈大明神樣仰ぎ願くは我御主人樣を助け給へ此德兵衛の生命を差上げます何卒憐みを垂れ給ひ偏に御救ひを願ひ奉る』と朝となく夜となく神前に額付いて念じます、初の七日經つて中の七日の滿願の日即ち十四日目、慶長十三年五月廿八日薄暮の頃から空は一面に掻曇り、今にも雨が降出そうと云ふ樣、自然參詣の人も途斷る、夜に入ては一入淋しい只神殿の御燈光の見々と輝くばかり、斷食堂を立出た德兵衛、モウ歩行く力も拔けて這ひながら、拜殿に來て拜を終り、夫から奥の院を差して蹌ろ〳〵參詣をする、雨さへ降り出して瀧木鬱蒼たる間を行くのです、樹木に風が逆らうからパウーザアーと物凄い事、漸う〳〵奥殿の濡椽に這ひ上り畏座て拍手を打ち 德『南無正一位武隈大明神樣……、度々御無理を願ひますが未だに何の御利益を給はりませぬモウ今日は二七日でございます是程願ふても若旦那を助ける事は出來ませんか、倘私の信心が足らないので御座いますか、所詮御利益が御座いませんなら甚うぞ此德兵衛を此場に殺して下さりませ、生命のある限りは無理な願か知りませぬが主人の若樣を非道の拷問から救出してモウ一度此娑婆を見せたう御座ます、モシ明神樣何うあつても助ける事が出來なければ其れ靈驗を顯はして下されまし、是程迄に願ひましても德兵衛のは通じませぬか』と怨むが如く訴うるが如く愚痴を並べて一心に祈て居る内に、心神疲れて樣側へ倒れて人事不省になりました、神は非禮を受けずと云ますが斯云ふ願は乾度御利益があります、慾を離れ一命を犠牲にして祈るのです者、夫を御賽錢を一錢位投込んで『家内安全息災延命商賣繁昌諸人愛嬌を受けまして火難盜難水難を逃れますやう』なんて云ふのは慾張過ぎて無理です、然うかと思ふと『一つ此度の事業が成功致しますやう成功致しますれば金の鳥居を乾度獻上致します』なんと云穢るい奴がありますが、夫は皆駄目な事で御座います、折角颯と吹來る一陣の烈風御堂の軒を敲くと思うと、正面に掛けてあつて一面の額、ガックリ外れて老人の頭を掠めて前へバタンと落ちた、其物音に德兵衛思はず目を醒まし見ると、一面の諸額刀が眞中に付てある、暗々として物の黑白も判らぬ中に此額丈があり〳〵見へるのも不思議だ 德『ア、扨は是れは正しく明神樣が助ける事はならぬと云れ告げなるか、斯まで掟かり吊してある額面が如何に風が强ければとて落ちる道理がない、落ちるのなれば外のも落ちなくてはならぬ譯だ……是は迚も主人の息子を救ふ事は出來ぬと云ふのかと、不圖瞳を定めて其額の表を見れば豈圖らんや船岡山の館持原田刑部が奉納としてある、伊勢國多度の住人三郎村正の鍛へた刀でございます。

廣告

第四十號
工事請負入札公告
一、溝渠護岸石垣修繕工事
此入札保證金各自見積價格ノ百分ノ十以上
入札者ハ滿二箇年以上斯業ニ從事シ現ニ居留民團税若クハ直接國税金五十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
右工事競爭入札ニ附ス請負希望ノ者ハ仕樣書繪圖面規則書及實地等熟覽ノ上十月三十日午前十一時限リ入札書ヲ當民團役所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ本民團民長古城菅之助之ヲ擔當ス
明治四十四年十月廿四日
京城居留民團役所

北京特電

軍艦四隻に降服 討伐艦隊提督薩鎭氷の麾下にある軍艦四隻は革命軍に降服せり

兩軍大決戰期 官軍及革命軍の戰機漸く熟し二十六日には大決戰行はるべし

革命軍の優勢 南京附近革命軍の勢力强大にして官軍の意氣揚らず革命軍に投降する者多し

獨逸の軍器賣込 獨逸は北京政府へ軍器賣込の爲め西比利亞線にて輸送を開始したり

革命軍と沙市 革命軍の占領したる沙市は秩序漸次回復し住民平穩なり

二師團の輸送濟 蔭陸相の率ゆる二師團は全部輸送濟となり司令部を孝感縣、漢口間に置けり

薩提督の報告 薩提督が海軍部への報告に曰く水雷艇二隻叛軍の砲擊を受け煙突に損傷を受け上海にて修繕す他の軍艦は陸軍を援助すべく重要なる地點に配置中なりと

天津燒打陰謀發覺 天津に於ける各學堂生徒總督衙門を燒打せんと企て發覺し十六名逮捕さる

上海特電

革命軍の檄文 革命軍は漢人出身の大小官吏に對し滿朝政府の官吏を辭すべしとの檄文を配布せり

革命軍の前進 革命軍は十八日以來の戰鬪に於て大捷を博し今や軍容を整へ前進する一方長江上流の各地を占領せんとし既に長沙宜昌沙市等陷落し巡撫に對し速かに降服の勸誘狀を發し破竹の勢力を以て前進しつゝあり

九江又陷落す 九江は二十四日を以て陷落し道臺衙門は燒かれ叛軍電信局を占領し之を閉鎖せり

湖口も陷落す 九江の東隣なる江西省湖口も亦革命軍の爲に占領せられたりと

漢口の食糧缺乏 漢口の邦人は糧食缺乏を告げ饑餓に迫らんとの報あり

東京電報

大藏證券發行 政府は二十五日大藏省證券二千萬圓を日歩一錢三厘にて發行したり

嚴正中立宣言 漢口の日本總領事館は嚴正中立を宣言せり

革命黨の要求 長沙の革命黨は四川省及湖北省の官憲に對し學校を除く外一切の官有財產を引渡すべし若し應せずば腕力に訴ふべしと强硬に要求したり

沙市も不穩なり 二十三日日淸汽船會社着電によれば宜昌は二十一日戰鬪を爲さずして革命軍の手に落ち秩序恢復しつゝあり沙市も亦不穩なりと

安慶の警戒嚴重 蕪湖來電によれば安慶の城門は數日に亘りて閉鎖され城門を出んとする者は嚴重に檢査を爲し學校敎師及び學生は不穩の態度を示し人民は恐怖の念に驅られ同地住民の多數は他に避難中なり

河南の革命軍 河南省高水縣の革命黨王天縱は部下千餘名を率ひて南下し武漢革命黨に投せんとしたるも中途官軍のために阻止せられ目下兩軍は對陣中なり

南京不穩と遣艦 南京發電報によれば南京は形勢漸く不穩につき駐劄領事は川島司令官に宛て軍艦派遣を要求したるため蕪湖滯泊中の秋津洲は二十四日拔錨南京に向かへたり

南京益々不穩 秋津洲艦長の發電に依れば南京に大暴動蜂起の兆あり人心恟々たり

濟生會寄附締切 恩賜財團濟生會に對する各府縣の醵金額は二十三日の大分縣を以て最終として全部終了豫定の二千五百萬圓に達したるを以て各府縣知事の寄附勸誘は一先づ中止に決す

公設展覽會成績 公設展覽會は來る廿六七の兩日第一部日本畫第二部西洋畫第三部彫刻の各部會を開き各部に於ける出品の優劣を定め三十日審査の結果を報告し三十一日を以て其成績を公表すべしと云ふ

鑛泉浴場調査 政府は三十萬圓の資金を投じ五ヶ年繼續事業として鑛泉浴場の調査を行ふべし

平北サクシユ電報

大彗星現はる 大彗星夜明け近く東天に現はる首尾共に鮮明なり（二十五日發）

雜報

●**救恤賜金配付** 曩に朝鮮暴風雨被害に對し第二回の救恤金として五千七百圓下賜されたるは既記の如くなるが爾來內務部に於て黃海道外三道の被害の程度調查中なりしが去る二十一日を以て右調查終了したるより今回夫れ〳〵各道に配付したるが同金額を示せば左の如し

△黃海道	金五千四百二十四圓
△平安南道	金百九十八圓四十錢
△咸鏡南道	金五十四圓二十錢
△慶尙南道	金二十三圓四十錢
合計	金五千七百圓

●**鮮米の輸入調査** 京城商業會議所の照會に係り大藏省の調査によれば明治三十四年以來朝鮮米の內地へ輸入せられたる者左の如し

卅四年	一四五六、六六一擔	卅五年	八九一、一八六
卅六年	一〇四三、六〇〇	卅七年	三三七、六八六
卅八年	二五九、一六一	卅九年	三三、九五九
四十年	一五三〇、六六四	四一年	二一六、三五〇
四二年	九九八、〇四〇	四三年	九二〇、一八七

●**朝鮮漁政意見** 朝鮮漁業に就て某當局者の談を聞くに本年朝鮮海水產組合の受けたる補助費は五万七千五百五十圓餘にして同組合にては本部の外支部九ヶ所出張所十一ヶ所巡邏船八隻を有し今や漁村の數約五十ヶ所一千二百戶五千人を算す若し夫れ衞生宗敎學事等機關の完きを得は永久的移住の漁民の增加は蓋し巨大なるものあるべし東南西の三海面中內地人漁者の分布力を示せば南鮮沿岸尤も多く迎日灣より豆滿江及仁川より鴨綠江に至るの二方面は氣候海風の關係上稀薄なるは自然の理と謂ふべく昨年の漁船數は約四千三百人員一萬八千五百漁獲高三百五十萬圓內外なるが若しヨリ以上豐饒なる水產界の門戶を開き漁利の獲得を企圖せんには漁村の奬勵方法社會的組織漁民撰擇の必要件は其の根本的急務と云はざるべからず云々

●**法學校は廢止唯名義のみ** 既報の如く法學校は敎育令の實施と共に廢校し同時に京城專修學校なるものに起ることゝなり居るが右は表面廢校の如くなるも其は單に名義のみにて職員の異同は勿論生徒の所屬等毫も從來と異ならず唯從來は重もに法官養成の方針なりしを今後は一般行政官及び銀行會社員を養成する方針となれるを以て幾分學科を變更し國語及び法律の課目を多少減少して商業學及財政學を加ふるにいたるべしと因に現在生徒數は一學級二十五名二學級十九名三學級二十六名合計七十名なりといふ

●**京畿道學事一斑** 京畿道管內に於ける鮮人敎育に就ては公立普通學校は總計四十六校あり此中本年度內に建設したるもの二十八校あり猶私立を公立に引直したるもの十八校あり此經費十二萬三千圓に達す又內地人小學校の總計十五校にして目下校舍を建築なしつゝあるの四校にして此中高等小學敎育をなすもの八校あり、生徒總數六千二百人にして內千四五百人は京城市內にあるものなり而して地方に散在するものは十人乃至三四十人の學齡兒童ある時は一校を設くる方針を執り居れるが長湖院、利川、漣川の如きは近く設立の必要を見ることとなるべし是等地方內地人小學校の就學兒童中には毎日四里餘の距離を濵車にて通學するものありといふ以上の外に公立の實業學校四及び私立の鮮人普通學校二百六十五校、宗敎學校七十二專門敎育、高等普通敎育、講習會等ありて公立學校の不足を補ひ居れり彼の寺子屋式書堂と稱するものに至つては何れも五六名の兒童を收容して專ら舊式の敎育に從事しをり其生徒總計一萬人內外を算す此の舊式敎育に對しては何等かの監督を施す必要あり目下道廳に於て調查中なりといふ

●**京城長春間直通列車** 鴨綠江架橋工事竣成十一月一日開通式擧行のことは既報の通なるが該開通後京城長春間直通急行列車は十一月一日長春發同月四日南大門發より開始せられ此直通急行列車は長春に於て一週三回運轉の歐州行急行列車に接續するため南大門長春の双方より出發運轉せしめ一等旅客に限り取扱ふもの也と而して南大門長春驛着日割時刻は左の如し

△北行 南大門發火、木、土曜日の午後八時三十分、長春着日、水、金曜日の午後十時三十分

△南行 長春發月、水、金曜日午後十時南大門着日、水、金曜日夜半零時二十分

因に右急行列車は最新優良なる寢臺車一等食堂車を連結し寢臺車の乘客は別に寢臺劵を購求すべしと

●**朝鮮人の貯蓄心** …播光化門局長談…… 朝鮮人には貯蓄と云ふ觀念は殆んど零なりとは世人の唱ふる處なれども吾人の見る所にては然らず寧ろ內地人よりは貯蓄の念慮に富み從て其必要を知ること深しと思ふ然れども幾百年の政弊は遂に彼れより貯蓄心を奪ひ必要を知るも行ふこと能はざるに至らしめたるにあり其結果所謂爲さゞるにあらず爲し能はざると云ふべきか客年併合以降頓に人心の革新を來し財產の安固なることを知り勞すれば利あり利あれば樂ありてふ觀念は普く自覺するに至り而て從來貯蓄機關の絕無なりしに今や郵便貯金なり銀行貯蓄なり其方面に於ける安全なる機關の備はれるより貯蓄心は大に向上し貯金通帳を所持せざるを恥辱の如きまでに至り從て爲さんと欲し又爲さゞるべからざる必要に迫られつゝあり是れが爲め近時朝鮮人の貯金は頓に增加を來し就中郵便貯金の如きは長足の發展を爲すに至れり客年九月に於ける切手貯金の口數及金額を本年九月に比するに實に口數に於て五十六金額に於て五十三圓七十錢の增加にして約二倍强を示せり又現金貯金に於て口數に於て五百五十一金額に於て一千五百三十圓を增加し約四倍强を見たるは誠に喜ばしき傾向なるも是れを人口に比すれば實に微々たるものにして今後內地人同樣の程度まで進まんとするには前途猶は遼遠と云はさるを得ず固より借金を爲して貯金を爲すが如きものはあらざるべきも未だ朝鮮人の經濟程度は猶其多數は貯金を爲す境遇に入ること能はざるが爲め其要を知るも爲し能はざるにあり今や當路の士は彼れに働て取る的の途を授け且つ敎ふつゝあれば勞力より得る處の所得をして徒費せしめざることに注意し勤儉貯蓄の必要を勸誘し其機關としては安全なる郵便貯金の趣旨を普知するに努むることそ現下の急務なりと信ず云々

●**京城食鹽需要高** 京城に於ける內地人の使用する食鹽は仁川の再製鹽のみにして內地及臺灣製の食鹽は引合はざるため取引するものなき由なるが本年一月より九月迄に仁川より京城へ移入せるもの百四十二万三千八百三斤にして此價額一万九千九百七十八圓八十二錢なり

●**天長節と總督府** 來る十一月三日の天長節には總督府に於て盛大なる祝賀會を開催すへしとは既報の如くなるが同會塲は例年の如く好道園とし官民約二千餘名を招待すへしと

●**天長節と在鄕軍人會** 在鄕軍人會京城分會にては來る十一月三日の天長節には午前十時より漢陽公園の廣塲に於て左記順序にて遙拜式を行ふ由なり

一遙拜式並に勅諭捧讀式、二万歲三唱、三祝盃、四解散、但し雨天ならば取止めの事會員各自勳位官等及氏名を認めし名刺携帶會塲受付に差出れたし

●**天長節と裝飾計畫** 來る十一月三日の天長節には大々的盛んに祝賀の意を表さんが爲め市中の有志等は今より各自思ひ〳〵の趣向を凝らし居る由なるが一方內地人朝鮮人合同の祝賀會には昨年に比して多數の來會者あるべき模樣なりといふ

●**日韓電氣事業擴張** 日韓瓦斯電氣會社にては目下五百キロ一臺二百五十キロ二臺の發電機に依り電車を運轉し電燈を供給しつゝあるが右は電車三十八臺電燈一万九千餘燈（十燭光換算）にして內電燈の如きは一ヶ月平均四百乃至五百の申込なり而して今回の電燈料値下を實行するに至らば申込者續々增加すべく目下の發電機にては到底電流の供給不可能なるを以て今回更に一千キロの發電機を据付くる事に決し來年二月迄には該機到着の筈なれば遲くも四月迄に据付を了し彌々事業の擴張を計る由にて市內電車も約二十臺增加する計畫なりと云ふ尙既報電燈料値下は目下監督官廳に對し認可申請中なるが十一月中旬迄には認可さるゝ筈なれば會社にては十二月一日より愈々値下を實施する由

●**商工調查常務幹事** 去る十七日の商工調查會に於て同會常務幹事十五名撰出に付ては議長に之れを一任しありたるが二十五日左記の通り指名されたり

象古禮藏、增田三穗、梶原末太郎、名草深一郎、山下新太郎、木島平兵衛、中內松次、岡內精一、南源太郎、西崎嘉七、菅谷駒之助、釘本藤次郎、關繁太郎、進辰馬、近藤松五郎

●**英大使の發期** 滯京中なる英國大使マグドナルト氏は二十六日朝當地發歸東すべしと云ふ

●**農銀主任會議** 農工債劵發行に關し度支部にては各地の農銀主任を召集し廿四日より總督府に於て其割當等に關し協議中なりと云ふ

●**會議所役員會** 當會議所は二十六日午後七時より役員會を開き會議所創立二十五年紀念祝賀の件並に電燈料引下げ問題を附議する由

●**京城競賣株主總會** 京城競賣株式會社にては開業以來豫想外の盛況を呈しつゝあるを以て二十六日同會社樓上に於て臨時株主總會を開き層一層業務の發展につき協議すべしといふ

●**鐵橋通行規則** 豫て草案中なりし鴨綠江鐵橋通行規則來る二十七日發布さるべし

●**土地調查の實習** 土地調查員養成所の生徒は現今約五百名あり來年三月卒業の豫定なるが生徒一同は昨今實習のため忠淸南道始興郡內面、永登浦、安養、京畿道早川郡郡內面等に出張し居り十二月中旬歸校すべしといふ

●**中央試驗場設置計畫** 工業傳習所にては單に簡易に傳習生の養成のみなるが今後一般の工業に關し各種の加工的試驗を要するものなり現に關東州にては官立の試驗塲を設け各種の試驗製造をなし居れるに成蹟良好なるを以て總督府農商工部にては明年度豫算に中央試驗塲新設の議を提出するならんと云ふ

●**煙草試製開始** 大邱太田の兩試作塲に於て製造したる煙草は先般より度支部廳舍跡にて刻み及卷煙草に製造中なりと

●**檜垣長官の歸期** 目下管內巡視中の檜垣長官は二十六日の午後歸任すべしと

●**山根囑託の歸京期** 山根囑託は本月初旬より衞生事務視察の爲め各道を巡視し目下淸津に滯在中なるが歸京期は十一月十日前後なるべしと

●**檢査官一行の出發** 渡韓來總督府各官署の會計檢査中なりし大澤副檢査官の一行は二十五日朝當地發江原道へ向け出發したり

●**久水仁川府尹の出張** 仁川府尹久水三郎氏は今回兵庫神奈川の二縣へ出張を命ぜられたり

●**三分一氏の送別會** 龍山小學校々長三分一謙藏氏は今回全羅北道全州へ赴任するに付古城氏長及京龍の有志者十七名發起となり二十七日午後五時より龍山八景園に於て盛大なる送別會を開く由

●**長野縣人懇親會** は都合により開催日を十一月四日（土曜）午後四時よりに變更す會塲會費は前報の如し

●**太田憲兵副官出張** 太田憲兵隊司令部副官は鴨綠江鐵橋開通に就き之に對する監視其他取締事務打合の爲め廿四日出發同地に出張せり

●**淸州の發展** 淸州は忠淸北道所在地にして併合後諸種の關係上經濟狀態に劇變を來し今春來內地人の移住者著しく增加し來ると共に鳥致院淸州間新道路の完成後は穀物其他輸出等に牛馬車を使用し得るに至り從て定時の馬車往復も日鮮人の往來又頻繁となり慈惠醫院農工銀行並に倉庫等も新築せられ城壁の一部は今春之れを撤去し其の巨石を以て下水溝を改修し尙は道路を擴張し專ら市區の改正を計畫されつゝありしが今回各邑內樞要の地域舊南門より北門に至る道路を三間巾に擴張し新築家屋は不燃物を以てする等其の面目を一新し內地人の永住見込を立つる者漸次增加し來りたるは大に喜ぶ可き現象なりと某歸客は語れり

●**甲山地方の氣候** 咸鏡南道甲山地方は客月三十日以來每朝降霜あり氣溫は零以下二度乃至七度にして去る九日少量の降雪ありたるも農作物には被害なし又長津地方は去る九、十の兩日大雪あり氣溫は零以下に降り大根蕪菜所の被害尠なからずと

●**咸南の農產品評會** 咸鏡南道にては咸興及元山に於て十一月三日より約一週間農產品の品評會を催ふす由なるが元山にては特に水產品も陳列する由也

●**國語朝鮮語字音比較例** 國語と朝鮮語とに於ける漢字の用法は必ずしも同一ならず從つて漢字の使用上注意すべきもの尠からざるに依り本書は主として其の紛れ易きものを撰びて之れが比較をなせるもの國語敎授上の參考に資すところ少なからず（官立漢城外國語學校編纂）

公人私人

▲向阪發三郎（技師）二十四日浦尾鎭へ

▲岡十郎（東洋捕鯨會社長）二十四日巴城館へ

▲豐永眞里（農學博士）二十四日水原行

▲三橋四郎（技師）二十四日平壤行

▲和田早實（三菱社員）二十四日平壤行

▲原田鎭治（三菱社員）二十四日平壤行

仁川港出入船舶

△秀吉丸 廿六日大阪より入港

△木浦丸 同 同

△蒼龍丸 同 芝罘より入港

△飛羽丸 同 安東縣へ向出港

△秀吉丸 同 大阪へ向出港

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十月五日	一三二、四〇七、四九〇	四六六

▲茶袋▼

山本藏相は繰延事業の整理に意ありと然り財政の紊亂を救ふことが出來ないとすれば、整理は何れの方面に於ても最も必要の事である△特に繰延事業の整理は、國家財政上の一背綮である、宜しく一切の繰延事業を打切つて、其中最も急切なるものに限り、適度の程度に於て新規の計畫を許すことゝするがよい△山本藏相にして此だけの雄斷がなかつたなら、整理〳〵と云ふも徒らに名ばかり存じて、其實は甚だツマラヌものとなる△北京電報によると、獨逸商人は北京政府に向つて軍器の賣込をしてをるとか、何もながら獨逸商人の機敏には驚き入る△我實業家連も一つ奮發をしてはドツか△一時革命軍の爲めに殺害せられたとの噂さが立つた、支那湖北省布政使邊甲の家庭敎師たりし河野稻子女史は二十五日上海發の郵船筑前丸にて門司に歸着した△同女史の語る所によれば、今回の革命軍の勃發は非常に迅速のものであつて、布政衙門の如きも突嗟の間に取圍まれた△其中に居た稻子女史は如何にして脫出せんかと種々苦心の末、額に墨を塗り一本の綱を賴りに衙門の障壁を乘越へ漸つと危難を免かれたものだそうな△中淸動亂が事も仰山に世界の耳目を聳動してをるに引代へ伊土兩國の事件は殆んど忘れられんとしてをるが、同事件も伊國がトツポリ無條件割讓を强硬に主張するので仲裁者も手を引き、土耳古では主戰論が漸く燃んならんとする有樣である、これで見るとマダ〳〵此事件も注目の價値ありだ。

チャンピオン傳（三）

仁川裁判所判事 春川泰助君

京城地方裁判所仁川支部判事春川泰助君は[illegible]軍法會議の理事をして居た時の事である

水原守備隊で官金三千圓が紛失

[illegible]

一年有半の後に豊後の佐伯で眞の犯人を捕へた

[illegible]

贋物買のチャンピオン

[illegible]ンとして推薦した、君は骨董に頗る深き趣味を有して居るので一旦此れはと思ひ込むと待て暫しがない、[illegible]『實は此れは御約束が出來て居りますので』とか何とか[illegible]ばくれる、サア左様なると一層欲しくて堪らないで其尻を追ひ廻して口説き立てる「實際れ約束が出來てれ手附まで頂戴して有るのですから…夫に就ては[illegible]もある、と云ふ[illegible]物は十年に一[illegible]ら、此の寂と云ひ[illegible]ませんナ…[illegible]致します、實[illegible]末で」なんかん[illegible]に擲かれた春川[illegible]れた時の喜は嘗[illegible]斗に拜み立て〻[illegible]で同人間の鑑賞[illegible]揃へて曰く『君は能くも飽ずに贋物を摑つてるねエ」

●代書屋の詐欺取財

[illegible]身受の魂膽から[illegible]村二百四十八番[illegible]業日高貞夫(二九)[illegible]取財犯被告事件に[illegible]召喚と題し既[illegible]の異想を報ぜん[illegible]二年八月渡鮮後[illegible]に止宿中夜半下女[illegible]率職し昨年一月[illegible]中旬發官となり[illegible]とが原因となり[illegible]にて成夜井門支店に[illegible]遊興したるに[illegible]中となり六回目[illegible]し常枝にも其意[illegible]では落籍は[illegible]負債を生ず[illegible]益々深く[illegible]落籍金四百[illegible]居たる九[illegible]藤原弘なる[illegible]を頼まれ測[illegible]居住十八銀[illegible]より京城[illegible]土地所有權[illegible]の手を經[illegible]を依頼したる[illegible]作製の折[illegible]紙數枚に捺印[illegible]申請を京城[illegible]に於て[illegible]し先の[illegible]を利用[illegible]町一丁[illegible]智野某の[illegible]なる者より[illegible]土地典當契[illegible]を借受け智野[illegible]常枝の[illegible]にすれば[illegible]某を電[illegible]本月六日井門支店との取引を終了し常枝を引取り同棲し居たるを南部署の手に檢擧されたるものにて常枝は去十五日午前取調終了放免せられ日高は餘罪ある見込にて引續き捜査中なりと

●名僧の女人教化

▽四十女の成佛得道

旭町二丁目の日韓寺は彼の田中周僧なる墮落坊主が弘法大師を煮汁に使つて經營せしものなるが一朝漁色の資に窮して他人の寄附金二圓を窃取し入監の身となりしより信徒等相談の結果水原より何の宗圓師と云ふ名僧を迎へ後住となし寺號も成身院と改めしが茲に南大門通〇丁目の山西とやら云ふ雜貨店の主婦にれ梅とかれ繁とか云ひて四十前後の寡婦さんあり此人八月上旬より大の信者となり毎日朝夕の二回宛參詣を缺さぬも殊勝早くも宗圓師の得度を受けて成佛得道して居るのは芽出度いが寺の下女れ花、飯さへ炊いて居れば可いが茲に芽出度からぬは夫れと知つた同い下女の身分も打ち忘れ「入歳の龍女は釋迦さんに成佛さして頂いたか知らんが四十近い雜貨屋の寡婦さんが成佛させられた例は法華經にも見ねない」と何の權利があつてか頗る憤慨するので慈悲忍辱を本とする宗圓師も胸に据ゑ兼ね何程かの手切金やない涙金を與へて暇を出した後は寡婦さんの歸依一層厚さを增したりと、南無ハラミッタ

●辯護士殺し事件公判

鮮人辯護士殺し犯人安鍾璉外四名の謀殺事件第二回公判は二十五日午前十二時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て開廷せられ被告辯護人としては前回同樣辯護士大久保雅彥氏外三名出廷當日は證人訊問にて數名の證人の內銅峴警察分署詰巡査補金景純及權命采の二名のみ出頭し殘餘は出頭せざるより拘引狀を發して訊問あらん事を辯護士より申請し次回期日は追て通知す可しと閉廷したり

●鐵道自殺未遂

去二十一日仁川警察署の水野部長が巡回中素砂驛の東方約一哩の鐵道線路軌道中央に鮮人服裝を爲せる男一名橫臥し居るを發見し醉漢ならんと近寄り取調べんとせし時恰も午後七時五十五分南大門發急行下り列車は轟然として進み來り正に轢殺せんとする一刹那辛して線外に救助し取調べたる處此の男は原籍熊本縣熊本市坪井町六十七番地士族齋藤廣司(三二)とて相當の敎育を受け內地に在ては小學校の敎員を奉職せしものにして昨年再度の渡鮮後は兎角疾病に苦み且昨今は梅毒に罹り剩へ身に一文の貯なく全く糊口の途に窮し且つ將來を悲觀し鐵路の露と消え失せん覺悟なりしと涙ながらに物語りたるより水野部長は大に同情し一應本署に連來り保護をなし說諭の上二十五日還らしめたり

●仕立屋銀次の乾分

原籍愛知縣名古屋市番地町番戶不詳當時京城南山町二丁目番戶不詳居住野田鐵吉(三四)は東京にて有名なる掏摸の親分仕立屋銀次の乾分にして去る四十一年中渡鮮して掏摸を働き各所を徘徊し居り既に二三回處刑を受け九月中永登浦監獄より出獄したるも改悛の狀なく本月二十四日南大門驛より龍山行の電車內にて溫陽島岡農場主島岡宮次郎の懷中時計一個を掏取らんとする所を龍山警察署の酒本巡査に認められ直ちに取押へられ引致せられたり

●使込店員の處刑

福井縣人當時龍山元町四丁目藤井金次郎(三四)は龍山旭町通り雜貨商山口吉之助方に雇はれ中商品毛糸メリヤス外七點(代十三圓餘)を窃取し又龍山榮町八木くまなる者金八圓七十錢入り財布を山口方に遺失したるを拾得費消し其筋に檢擧されし事は既報の如くなるが二十五日京城地方裁判所に於て懲役三月に處せらる

社告

天長節奉祝の爲め本社主催の下に擧行さる可き京城藝妓總出の神田祭式手古舞行列に關する詳細は次號に於て發表仕候

十月　京城新報社

●手古舞行列相談會

當地中京兩券番に屬する藝妓代表者十餘名は廿五日正午江戶川に集合し天長節奉祝行列に關する打合を爲し尚其席に於て新作木遣歌の相談をも爲したり

●宿らせぬとて亂暴

廣島縣加茂郡女端村白四十番地當時住所不定岡本貫一(二七)は一定の住所職業なく十月二十四日午後九時半本町一丁目裏通り加瀨和三郎氏方に至り宿泊を强請し暴行を働き南部署に突出され拘留五日に即決

●演藝だより

●壽座● 後藤一行廿六日の狂言は廿五日同樣報知新聞連載の黃菊白菊及びむすび草なりと

●歌舞伎座● 廿六日も戶田新入の續き狂言にて切『義士銘々傳神崎與五郎』也

●浪花館● 二十六日の代番組左の如 百人坊主(枝輔)遊さん船(圓松)成田小僧(小圓)太神樂曲藝(福樂)けいてや(圓三)五人回し(芝鶴)娘奇術(春代子)きあい床(福圓)音曲穢(ヘジヨンペール)切喜劇總出

●壽座雜觀

○△生

二十四日の午後九時過ぎ壽座を覗いた恰も嫁ヶ淵の第九幕目こぼれ萩(二條矢上の下宿)の場であつた、此の好い藝題に五分の入とは不思議だと不審をしたら夕刻から空模樣が變つて雨が降つたり風が吹いたりしたからだと云ふ人があつた、一座大車輪の働き觀客は大滿足に見受けた、途中から見たのだから評めいたものは預つて扨一等席を物色すると淸華亭の若龍と金五郎の二人は眼の緣を泣き腫らして居る、第十幕目むしろ旗(鑑岸寺鐘樓の場)の幕開きの時淸華亭の今奴と大助の二美形が仲居を伴れて入つて來た、今奴の少し醉つてるらしい姿が又なく艶かしい、曰く『貴許所の新聞で行路病者の事を見た鶴羽さん金五郎さん政菊さんの三人が見舞に行つて歸つてから相談がありましたので一同で寸志だけの事ですが今朝帳場さんに賴んで置きました、とヨットすると貴許に御處分を願うかも知れませんが何分よろしく』と如才がない、フト向ふを見るとい京を筆頭に掬翠の君子、れも茶、井門本店の政子、奴、鶴吉、富美子、妻子なんぞの金一封也後藤良介丈への札が下つてる、近來珍らしい次第と探つて見ると後藤が乘込當日井門で顏つなぎを行つた際中檢藝妓二十餘名を招いて後藤から饅頭を出した其返禮とあつて右の始末、花月と淸華亭とは氣が注かずに居ると見ねる、夫れに續いて井門樓、同仲居一同、辻屋、青木堂、巴城館なぞの札が下つて居る、筆頭のい京は掬翠に居た當時招かれたのである相だ。

●總督府醫院を覗る

（二）覆面冠者

廿一日午後三時電車の內に憲兵の上等兵と乘り合はした、顏を見知つた間柄だ「ヤー」「ヤー」の挨拶が濟むと憲兵君は僕に向つて「相變らず新聞屋か」と軍人は給料を貰つて居ても徵兵と同じに心得て傲然としてる「ウム、君も相變らず憲兵屋の上等兵だナ」と言ると先生も道に可笑しかつたか「アー〳〵」と哄笑して總督府醫院の方へ出る所で降りて行つた、僕は其所で乘換ねて總督府醫院の門前で降りて扨考へると此の一區三錢は不廉いナと思ひつ〻門內の守衞詰所に髭を捻つて御座る守衞君に一寸挨拶して坂を上ると左側の建物に「總督府醫學校」「庶務課」「施藥患者救護所」の看板が掛け列ねてある、僕の大なる目的は此救護所にあるのだが「見舞」の方が主であるから此方は跡回しにして受付の窓口に立つた、室內には三十二三の男と十七八位のと二十歲位の二人の婦人が紫の袴を着けて控ねて居た「入院患者へ面會したいのですが」と云ふと男の人が立つて來て「患者のれ名前は」と云ふ「西の三號の患者です」と答ねて許可を受けて上りは上つたがサア何方へ行つたら可いか不明ない、受付へ引返して尋ねようと思つて引き返さうとして居ると十四五歲とも思はれる

紫の袴を着けた可愛らしい給仕の孃さんが僕の前へ來て丁寧にれ辭儀をなさる、何かは知らねど禮を返すと「西の三號室は此の廊架をヅーッとれ行でになると宜しいので御座います、猶各號室の入口には看護婦が控ねて居りますすでれ訊き下さいまし」と可嚀なものだ、行き屆いたものだ一禮を述て廊架を辿る、隨分長い〳〵一室の入口に看護婦さんが椅子に腰を掛けて居られるから「西の三號は……」と訊きかけると「此室ぢやありません」と切口上の愛嬌もない、又少し行くと

西の三號と云ふ札が眼に入つた「ヤレ嬉しや」と其入口の椅子に倚つた二名の看護婦さんに向つて「私は二十日入院しました○○と云ふ患者に面會に來た者ですが何處に居りますか」と隨分叮嚀に尋ねた心算だが先方へは何う響いたものか

「此の奧」と云つたッ限りニコリとも爲ない、勿論看護婦は藝妓ぢや無い娼妓ぢや無い强いて愛嬌を作るには及ばないがモ少し優しからねばならぬ、僕は總督府醫院に叱られに來たのぢやない怒鳴りつけて遣らうかと思つたが大きな聲を出して病人を驚かせるでもないと思つて各室の名札を驗めつ〻鳥鷺々々と進んで行く〳〵と先きの方で「此方です〳〵」と手招ぎする婦人がある、見ると夫れは新町龜鶴樓の○○であつた（つゞく）

有効無害保證赤井箝藥 登録 商標 慶 六神丸 脩

定價
一粒入 金十錢 十四粒入 金一圓
二粒入 金十八錢 二十粒入 金一圓四十錢
三粒入 金廿五錢 五十粒入 金三圓
五粒入 金四十錢 百粒入 金五圓
十粒入 金七十五錢 郵税一包に付金三錢

特効主目
◉肺病◉胃病◉風邪
◉腫物(即ち疔瘡◉乳蛾◉乳癌◉腫毒◉腸癰等)
◉痢病◉下痢◉心臓
◉霍亂◉小兒驚風等に最も適當す

◉肺病全快禮状大畧
拜啓過日當村神田増直(十六才の男子)肺病にて永らく困難罷在り候に付御藥御送附相願ひ候處御送り被下難有仰の通り用ひ候處今日に至り全快致し從前の通り職業に身力を盡す何の差支も無之場合に相成候間早々不備
右御禮申上候 明治四十四年四月十八日
甲斐國中巨摩郡大井村古市場
不動寺内 松田深敬
亀田利三郎殿

◉注意 六神丸と稱する藥品なれば皆悉く効能ありと思ふは大なる誤り也、近來諸方に幾多の自稱類似藥生じたるを以て本舖發賣の眞品を購求せんとする人々は、赤井筒の登録商標及龜田利三郎の文字に御注意の上有効無害の精品を撰ばれん事を熱望す

京都五條室町西入 電話八二七番
正本家 龜田利三郎
京城南大門通三丁目
振替口座京城十六番 電話一〇六八番九〇四番
代理店 新井藥房

正價表以御申越次第進呈
京城明治町二丁目(電話三〇二番)
瀧川銃砲火藥店

清酒 正宗 醸造元 正則
酒 小賣壹升に付三十五錢
清酒 味淋燒酎 並に日用食料品雜貨類 卸賣は特別割引可仕候
醸造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

●十月二十日より開園 ▲入場料五錢
觀菊御案内
▲ビヤホールの設備仕居候
京城西大門外 金華園

眼科專門
前大韓醫院眼科部長 金井豐七
京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 電話一五五六番

獵銃 獵具 火藥
京城本町六丁目
增戸銃砲店

家庭用 工業用 洗濯石鹼
アイラントブ 浮石鹼
マツ
(其他)豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油◎苛性曹達◎洋チャン◎椰子油
京城旭町二丁目
朝日石鹼製造所
電話九七三番 振替貯金番京城四〇〇番
工業用諸油製造販賣

資本金五百萬圓
㊞東京建物株式會社派出所
一土地建物抵當貸附
一月賦償建却物建築
本店東京市日本橋區吳服町
京城旭町二丁目 電話一一六八番

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
ねつはやりかぜづつうりうまちすに大効あり
印 定 アンチピリン丸
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京本石町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座京城十六番

牛馬犬猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長 小川龜太郎
小川家畜醫院(電話四二七番)

定期株米仲立業
諸公債 株券 現物 賣買
京城明治町一丁目 西村商店 電話一七六番 一九二七番
龍山本町三丁目 西村出張店 電話一二〇番

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
電話四〇番 電話七三二番 電話九四八番 電話一六〇八番
本町三 南大門驛 大和町 同第二

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 敎具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
◉新案韓語硏發賣所◉
◉國語指南◉
朝鮮京城本町三丁目
平田商店
敎育品部 用達部
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

◉母國よりも安い◉
携帶電燈 大一圓二十錢 中壹圓
懷中電燈 小七拾錢 大九拾錢 小七拾錢
地方には即時小包發送
●大々的の勉强●
販賣 各種眼鏡 貴金時計 電燈各種一品式
京城本町一丁目郵便局前
金化堂時計舖 電話一三一八番

緩和下劑
カスカラ糖衣錠
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

英國セフヒールド市 シーボムアンドディキンスタル 製鋼會社特約品
鑛山用 地球鶩印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

新荷着
厚物 薄物 鐵板 各種
浪板 平板 各種 垣用線
和洋金物商
㊇ 佐野彥藏商店
京城本町貳丁目
電話一六三番 振替口座京城一一二〇番

S.K.S
土耳古貢
エスケーエス
專賣局定價 一號金六圓 二號金五圓
なれども朝鮮內は大安賣
特約販賣店 京城辻屋、龍山貴田、木浦沖永、馬山西川、公州中芝、平壤昌洋行、鎭南浦宇津木
仁川 オチ商會
電話七三八 (電略オチ)

資本金 百二十五萬圓
積立金 六十萬七千圓
(創立明治五年六月)
貨物運送取扱 危險擔保運送 貨物引換證發行 品代金貨物取扱 稅關貨物取扱
內國通運株式會社京城支店 電話長一七九、一〇八、二二五
本店 東京市日本橋區佐內町三番地
支店 京城南大門驛前
釜山驛前 釜山出張所 電話三五七、九〇四、六一六
草梁驛前 草梁出張所
仁川驛前 仁川出張所 電話長三二八、五一一
龍山驛前 龍山派出所 電話二〇六
平壤驛前 平壤出張所 電話長一一六

完全なる懷中藥 優秀なる口中香劑
JINTAN
仁丹
は ●精神を快活に、胃腸を強健に食事を進め
酒タバコの毒をけし味を増す
諸君欠さず御服用あれ
朝鮮代理店 京城新井藥房

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

誠 ハ弊店ノ主義也

登録商標 誠
醸造元
仁川港宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號(フ)

効能ある温泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、らいびよう、ばいどくせいできもの、ひぜん、しつ、しきゆう、ぢのいたみ、つきやくふぢゆん、ひんぴよう、しようかち、がんびよう、ひぜんかさ其他皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、あせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんてうかたる
內用効能 ひんけつ、しんぞう、ねびよう、ちようかたる、いびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りうまちす、せきずい、じんだう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよい
旅館 浴客 貸席
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一二番)
鐵冷温泉

M.C.C.
土耳古紙卷煙
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢
なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀬支店

土地建物鑛山株券賣買
一市內宅地買渡たし
一市外田畓山買受たし
一鐵鑛區權利讓受たし
小林藤商店
一恰好なる住宅賣物あり
一有望なる未墾地權利讓物あり
一電話讓物あり
京城明治町三丁目 電話六五五番

特約販賣店 仁川 高雄支店
東京流納豆大安賣
中林本家 尾州半田 清酢

特製 實味噌
御料理向
味噌製造 漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

十月中 瀛船出帆廣告
キ
安東丸 海州丸 三省丸 海利丸 安東丸
舊島行 海州行 屯串行 海州行 湖芝行
十月廿七日前九時 十月廿六日前四時 十月廿七日前三時 十月廿八日前五時 十月日前
合資會社秋田商會船舶部
仁川本町大四丁目 電話一七三番 七一〇